

防災教育シンポジウムを開催【小・中学校教員約50名、計約220名が参加！】

紀伊半島、伊勢湾沿岸に甚大な被害を与えた伊勢湾台風から来年で60年を迎えるにあたり、防災意識の向上と防災教育の促進を図ることを目的に、「防災教育シンポジウム～地域と学校が協力して進める「防災教育」を考える～」を開催。

日時:平成30年8月20日(月)14:30～17:00 場所:名古屋国際センター 別棟ホール (名古屋市中村区)

■ 基調講演

愛知教育大学 社会科教育講座教授 伊藤 貴啓氏
「子どもたちと地域の未来を開く防災教育 (あいちの防災教育マニュアルから)」



◎主なご意見

- ・学校の防災教育と地域の防災、自治体・国・専門家が連携し、子どもたちの生きる力を育むことが重要。
- ・**教員は「地域を観る目、地域で考える力」をもち、「自ら考え、行動できる児童・生徒」を育てるべき。**

■ パネルディスカッション「地域に根ざした防災教育を推進するために」

<コーディネーター>
名城大学大学院 都市情報学研究科 教授 柄谷 友香氏

<パネリスト>

愛知教育大学 社会科教育講座 教授	伊藤 貴啓氏
静岡大学 教職センター 特任准教授	山本 隆太氏
伊豆の国市立長岡南小学校 校長	勝呂 義弥氏
豊田市立元城小学校 校長	杉山 孝行氏
愛知県教育委員会 健康学習室 主査	鈴木 照氏
中部地方整備局企画部長	岩田 美幸

■ 事例発表



伊豆の国市立長岡南小学校 校長 勝呂 義弥氏
「狩野川の防災・河川環境教育への取り組み」



豊田市立元城小学校 校長 杉山 孝行氏
「避難訓練等の防災教育の取り組み」



静岡大学 教職センター 特任准教授 山本 隆太氏
「静岡大学、国交省が連携した防災教育の取り組み」



◎パネリストの主な意見

- ・鈴木主査 : 熱心な学校だけでなく、**地域**や隣同士の学校で**広く防災教育**を進めていく必要がある。
- ・岩田企画部長 : 国交省としても、防災教育の教材の準備等、**教員**の皆様の**支援**を進めていきたい。

◎主なご意見

- ・勝呂校長: 忙しい教員が、限られた時間で効果的な授業を進めるには**国交省など専門的な機関の支援が有効**である。
- ・杉山校長: 国交省の動画、カードゲームを使用した事前授業や避難訓練で学んだことは、児童の**家庭での避難行動にも繋がる**。
- ・山本准教授: **ボトムアップ式**で**主体的な防災教育**の推進が必要。

◎コーディネーター 柄谷教授まとめ

- ・防災教育が、子どもたちの学び・成長に繋がるためには、**現場の教育課程、先生の状況・悩み・課題**などを、様々な**ステークホルダー**(行政、住民、被災経験者)が**共有**をしながら、それぞれの得意分野の中で**連携を継続**することが重要。